

Dionex IC技術説明会 2024

本セミナーでは、基礎から応用まで、イオンクロマトグラフィー (IC) の理解を深めることを目的としています。本年は大阪、名古屋、東京の3会場で開催いたします。ICの基本原理やカラム、検出器についての基礎知識を学べるほか、トラブルシューティングをご紹介します。さらに国立研究開発法人海洋研究開発機構の高野さまに、イオンクロマトグラフ質量分析計 (IC-MS) の活用事例として、日本初の小惑星探査機「はやぶさ2」が持ち帰った炭素質小惑星「リュウグウ」のサンプル分析についてご講演いただきます。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

開催概要

大阪会場	2024年6月6日 (木)	定員100名	千里ライフサイエンスセンター (大阪府豊中市新千里東町1-4-2 5F 山村雄一記念ライフホール)	お申し込み期限: 2024年5月24日 (金) 17:00まで
名古屋会場	2024年6月20日 (木)	定員100名	ウインクあいち (愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38 9F 902号室)	お申し込み期限: 2024年6月7日 (金) 17:00まで
東京会場	2024年6月26日 (水)	定員150名	東京コンファレンスセンター・品川 (東京都港区港南1-9-36 アレア品川 5F 大ホール)	お申し込み期限: 2024年6月13日 (木) 17:00まで
参加費用	無料			

※各会場、先着順となります。また、お申し込み期限前でも定員に達した場合は、お申し込みを締め切らせていただきます。
※同業他社さまからのお申し込みについてはお断りする場合がございますので、あらかじめご了承ください。



プログラムは裏面をご覧ください。

お申し込みはこちら thermofisher.com/jp-ic-seminar2024

thermo scientific

プログラム		
12:30	受付開始	
13:00~13:10	オープニング	
13:10~14:00	イオンクロマトグラフィーの基礎 当社 クロマトグラフィー&マスペクトロメトリー事業本部	本講演ではICを初めて使用する方に向けてICがどのようなものなのか、初心者の方にも知っていただきたい基本原理と併せてお話します。ICの成り立ちと、液体クロマトグラフ (LC) との違いを始めとして、イオン交換分離や、サプレッサー、検出器の基本原理を分かりやすくご説明します。また、クロマトグラムの処理の仕方や、基本的なサンプルの前処理といった実践的なことも簡単にご紹介します。
14:00~14:40	自然界の無機・有機イオン性化学種と高分解能質量分析法 ～有機地球宇宙化学への新しいアプローチ～ 国立研究開発法人 海洋研究開発機構 (JAMSTEC) 上席研究員 高野 淑識さま	イオンクロマトグラフィーによる一般的な目的成分は、主に無機態のイオン性化学種を対象とすることが多い。一方、自然界の水溶性成分は、有機態のイオン性化学種ならびに無機/有機複合態の溶存成分も含まれ、非常に幅広い存在形態である。それらの多種多様な化学種の前処理法や湿式操作の最適化も含め、網羅的に定性・定量評価する手法の確立が望まれてきた。本セミナーでは、自然界の物質科学的探索のうち、イオンクロマトグラフィー/高分解能質量分析法を用いた有機地球宇宙化学的な研究例を紹介する。
14:40~15:15	IC分析の要はカラム! 分離特性とカラム選定の基礎知識 ～No column, No IC～ 当社 クロマトグラフィー&マスペクトロメトリー事業本部	新しい分析分野、試料に対応すべく当社では多種多様なカラムを設計し、ご提供しています。サンプル情報と目的イオン種成分、どのカラムを使用するかによって結果は大きく変わります。分析事例やカラムカタログ情報、データ集などを活用し、当社のICアプリケーションチームがカラムを選定する際に判断材料としているポイントについて実際の分析例を示しながら解説します。
15:15~15:35	ポスター展示/コーヒープレイク	
15:35~16:10	分析事例から学ぶ検出器の活用 当社 クロマトグラフィー&マスペクトロメトリー事業本部	電気伝導度検出器はIC分析の汎用検出器としてほとんどのイオンを検出可能ですが、目的に応じて、UV検出器、電気化学検出器、質量分析計などの検出器と組み合わせることで、検出に選択性を持たせたり、感度を高めたりすることができます。検出原理の異なる検出器を活用することで、IC分析の可能性をさらに広げることになります。本講演では、IC分析で使用する検出器について解説し、具体的な分析事例の紹介を交え、検出原理の異なる検出器の活用を紹介いたします。
16:10~16:40	ユーザーでできるトラブルシューティング ピークが出ないまたはピークが小さい場合 当社 カスタマーサポート本部	昨年はユーザーでできるトラブルシューティング～サプレッサー編をご説明させていただきましたが、今年はお客さまからのお問い合わせが多い、ピークが出ないまたはピークが小さい場合のトラブルシューティングについて説明させていただきます。ピークが出ない/小さい場合、特定の成分だけで起きているのか、全ての成分で起きているのかによってその原因や対処方法が変わってきます。本講演では現象から原因を見極める方法とその対処方法について説明させていただきます。
16:40~16:50	当社からの情報提供/クロージング	

※各会場では各演題の終了後にQ&Aの時間を設けます。

※セミナーの録画・録音、画面のスクリーンショットはお控えください。また、それらの二次利用もご遠慮ください。

※プログラムは予告なく変更となる場合があります。最新の情報は以下Webサイトをご覧ください。また、当日の進行状況により、各演題の開始時間が前後する場合があります。

※同業他社さまからのお申し込みについてはお断りする場合がございますので、あらかじめご了承ください。



お申し込みはこちら thermofisher.com/jp-ic-seminar2024

研究用のみ使用できます。診断用には使用いただけません。

© 2024 Thermo Fisher Scientific Inc. All rights reserved.

All trademarks are the property of Thermo Fisher Scientific and its subsidiaries unless otherwise specified.

実際の価格は、弊社販売代理店までお問い合わせください。

価格、製品の仕様、外観、記載内容は予告なしに変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

標準販売条件はこちらをご覧ください。 thermofisher.com/jp-tc IC304-A24040B

サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社

分析機器に関するお問い合わせはこちら

TEL : 0120-753-670 FAX : 0120-753-671

Analyze.jp@thermofisher.com

thermofisher.com

thermo scientific